

# ヒヤリハット活動

## でリスクアセスメント

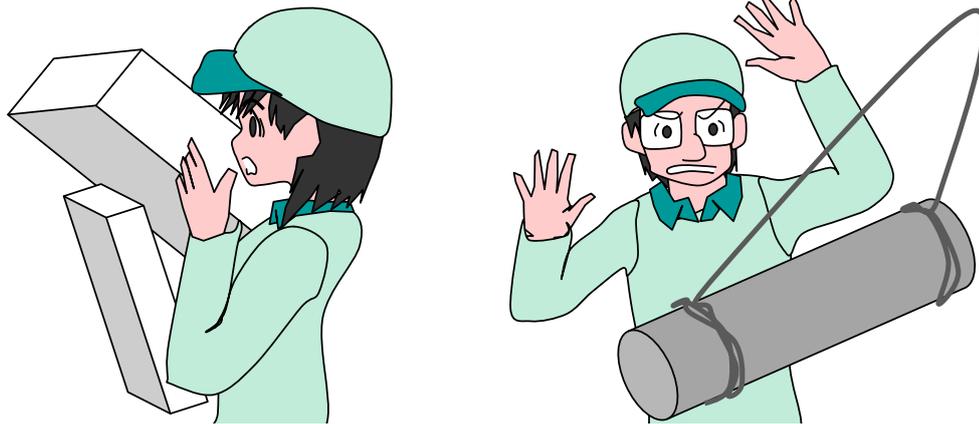
ヒヤリハット活動でリスクアセスメント

兵庫労働局作成

### ヒヤリハットとは

仕事中に、**ヒヤッ**としたこと、**ハッ**としたこと、危ないと感じたことはありませんか？

ヒヤリハットとは、危ないことが起こったが、幸い災害には至らなかった事象のことです。



ハインリッヒの法則(1:29:300、分析により導かれた労働災害の発生比率)では、1件の重大事故のウラに、29件の軽傷事故、300件の無傷事故(ヒヤリハット)があるとされています。

ヒヤリハット活動は、この300件のヒヤリハットを集め、事前の対策と危険の認識を深めることで、重大な事故を未然に防ぐ活動です。作業員ひとりひとりが出来る、安全活動のひとつです。

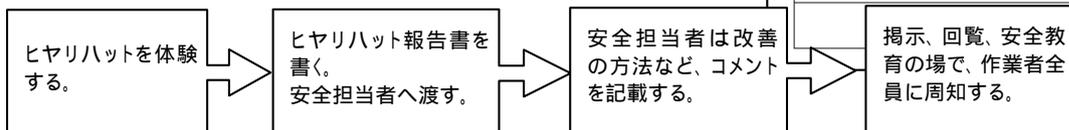
### ヒヤリハット活動をやってみましょう。

自身で体験したヒヤリハットを報告してみましょう。

体験したヒヤリハットだけではなく、他の作業員が体験しているのを見たと言うヒヤリハットや、こうなるのではないかと予測したヒヤリハットも有効です。

(些細なことでもためらわず出しましょう。災害の多くは非定常時に発生しており、些細と思えることほど重要であったりします。)

回覧			
安全	衛生	基準	産業
ヒヤリハット報告書(例)			
氏名	安全 太郎		
いつですか?	平成23年3月3日 午後3時ごろ		
どの場所ですか?	商品倉庫 階段ドア前		
どのような作業でしたか?	商品を両手に持って、運搬中		
ヒヤッとした内容	荷物を持ってドア前まで階段を上ってきたが、別の課の人がドアを開けて(ドアがこちら側に開き)、唐突だったので、階段の下側に急うく転落しそうになった。		
どのようにすれば改善できるでしょうか? (出来れば記入してください)	相手がドアをあげてくるかもしれないと思っておいたほうがよかったです。		
改善方法等の記入(安全担当者記入)			
ドアの両側に注意書きを設けようと思います。			
備考			



ヒヤリハットが提出されたら、活用しましょう。

作業員全員に周知し、ヒヤッとした経験を共有することが重要です。

注意点としては、報告がどのように扱われるか分からないと、誰も提出する気にはなれないものです。

報告されたヒヤリハットには、どういった対策が考えられて、そして周知されているかが分かるよう、報告の仕組みを決めておきましょう。



### 安全担当者へ

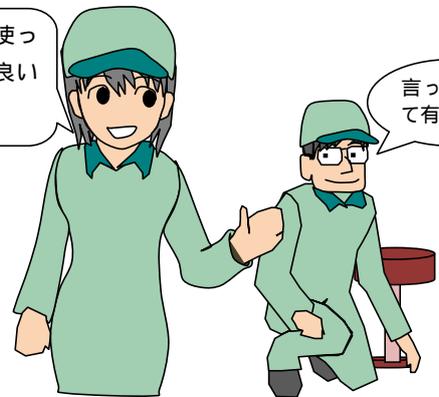
ヒヤリハット活動を行う機会（報告の仕組み、報告についての安全教育の時間、活動の時間）を設けてください。

事業場内で、安全活動や安全教育の機会を特に設けていない場合は、安全週間の際に実施するなど、定期的な実施を試みてください。

また、円滑にヒヤリハットや危険予知訓練など安全活動を実施するには、普段から作業にまつわる安全や作業方法などについて社内で話せられる 会社の雰囲気・風土づくりが重要です。

踏み台を使ったほうが良いよ。

言ってくれて有難う！



### リスクアセスメントへ

ヒヤリハットの報告は、リスクアセスメントへ活用してください。ヒヤッとした経験をその作業にまつわる危険として、表に記録します。

棚おろし作業

危険源	災害の程度	災害の可能性	リスクレベル
階段側にドアが開き転落しかけた 取扱中に物が大きいので落ちてきた。	x		



実際に事故が起こった場合を考えます。その災害の程度 x、その災害が発生する可能性 x を、記載します。実際にヒヤリハットを報告した作業員とともに行うのも良いでしょう。

こうして出来た一覧のうち、災害の程度 x、災害の可能性 x など、リスクの高いものについて、優先的に対策を検討します。

リスクアセスメントでは、危険に対して優先度を決めて、根本から作業を変えたり、安全のための道具を用意したり、設備に安全装置を設けたりしていきます。

・ドアが階段とは反対側を開くように蝶番を変える。